

自主的、実践的に活動しようとする態度を育てる学級活動(1)の工夫

—少人数学級における、認め合い深め合う話し合い活動を通して—

特別研修員 特別活動 青山裕也（小学校教諭）

話し合いにおける児童の実態

- 司会や記録を設けると話し合う人数が少ない。
- 一部の意見で進行してしまう傾向がある。
- 全員の意見を取り入れるまでには至ってない。

教師の願い

少人数だからこそできる話し合い活動を！

- クラス全員で活発に意見交流をさせたい！
- 互いの意見を認め合い、自分の考えに自信を持たせたい！
- みんなで意見を深め合いながらまとめ、実践させたい！

授業の実際

手立て① 話し合う場の工夫

- 机の配置を円卓にする。
- 意見カードと模造紙を活用して話し合う。



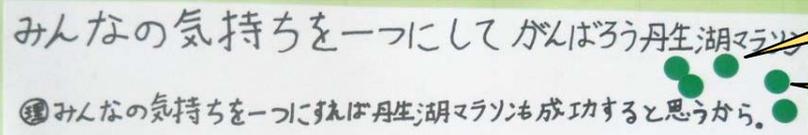
模造紙に直接メモができるね！

距離が近いから話しやすいね！

みんなの意見を間近に見ることができるね！

手立て② 認め合う活動「ナイスタイム」

- 自分の考えに自信をもてるように、お互いの意見カードに一言添えながら緑のシールを貼る。



認められたことが緑のシールで残るからうれしいね！

友達の意見に対する自分の考えも伝えることができるね！

手立て③ 深め合う活動「プラスタイム」

実践授業1 意見を選択していく議題

「雨の日の過ごし方について、低学年と一緒に楽しめる活動を考えよう」

- 今までの経験を生かして考え、模造紙上で意見カードを整理する。
- 意思表示をしやすいように賛成意見には、星のシールを貼る。

全員納得できたことが、星のシールでわかるね！

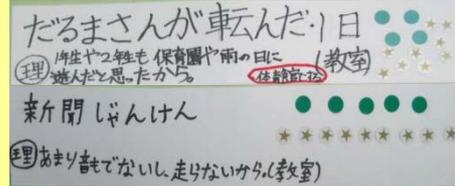
全員が納得した「賛成」と、一人でも反対があった「両方」の2カ所に分けながら進めていけるね！

〈実践の様子〉

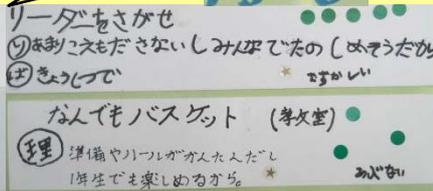


実践の日に向けて、役割分担を決めたりルールを考えたりするなど、自主的に児童同士で話し合う姿が見られた。

★賛成★



両方

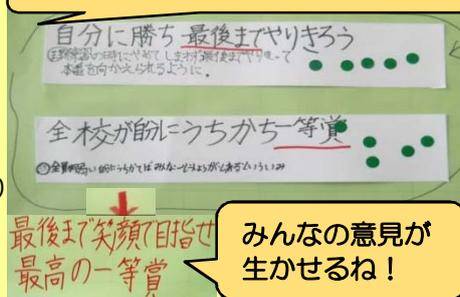


実践授業2 新たな一つの意見にまとめていく議題

「丹生湖マラソンのスローガンを考えよう」

- 模造紙上で意見カードを整理し、折衷案や修正案を考えていく。
- 意見の中で似ているものをまとめたりキーワードに赤線を引いたりする。

みんなの意見を整理しやすいね！



みんなの意見が活かせるね！

〈実践の様子〉



決定したスローガンを協力して作成し、全校に発表したことで意識が高まり、自主的にマラソン練習をしている姿が多く見られた。

成果

- 全員が学級会に集中でき、活発な意見の交流ができた。
- 認められた喜びを感じるとともに自分の考えに自信をもてた。
- 認め合いながら模造紙上で意見を整理・決定することができた。



課題

- 自分の考えを持ったり話し合いのめあてに振り返ったりするための、時間の確保。
- 議題に関係する過去の体験が想起できる、提案理由の発表方法等の工夫。